



鷺宮

No.319 平成20年4月7日 中野区立鷺宮小学校

鷺宮小学校の新たな歩み

校長 吉本恒幸

校庭の桜もまだ散るのを惜しむかのように、その美しさを誇っています。子どもたちを迎える学校水車は、春の訪れを喜びながら軽やかに回っています。

お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。教職員一同心からお祝い申し上げます。

3月に行われた卒業式がつい昨日のこのように思い出されます。37名の卒業生が夢と希望を抱いて元気に巣立って行きました。そして今日、41名のかわいい1年生が入学式を迎え、新たに鷺宮小学校の仲間入りをしました。平成20年度、本校は児童数281名、12学級でスタートしました。

別の欄にお示したように、教職員にも異動がありました。これまで本校の教育のために全力を尽くしていただいた方々が去るのは何とも悲しいことです。去られた方々に感謝するとともに、新たに転入した仲間とともに鷺宮小学校をさらに発展させていく決意です。

ご存じのように、去る3月28日に新しい学習指導要領が告示されました。国際的な調査に基づく学力問題を視野に入れ、我が国の学校教育の立て直しを図る意図が込められています。

こうした教育改革の流れは本校にとっても大きな影響があります。鷺宮小学校はこれまでの教育実践を踏まえつつ、時代が求める新たな教育活動を推進していく変革の時期を迎えていると考えます。

変革の視点は「じっくり子どもと向き合い、基礎・基本の定着を図り、ゆとりとリズム感ある学校生活を創り出す」ことにあります。

本校が具体的にどのように変わるかについては、これまでもお知らせしてきましたが、年度の初めでもありますので改めていくつかをお示しいたします。

「心の教育」を新たな特色として生命尊重の精神をどの学年でも重視して指導するとともに、低学年では基本的な生活習慣の育成、中学年では規範意識の醸成、高学年では集団の一員としての役割と責任の自覚などを重点的に指導します。

望ましい生活習慣の定着に向けて、保護者や地域の皆様のご理解を得ながら運動を展開します。学びの基盤は規則正しい生活習慣にあります。「早寝、早起き、朝ごはん、テレビやゲームを消して外遊び」を標語にして、家族の語らいやゲームなどから離れた時間の過ごし方を推奨します。なお、朝の遊び時間を多くするために午前8時から登校を可能とします。

朝の活動をサイクル化します。原則として火・木曜日を国語と算数を中心とする朝学習、水曜日は各種の集会活動、金曜日は朝読書と音読（月ごとに重点化）を行います。低学年の朝読書には保護者の皆様の読み聞かせもお願いします。

学年ごとに用意されている音読集を全員が音読・暗唱できるようにします。担任や詩人菊田守様をはじめとした「ことぶきさぎのみや」の方々に聞いていただくシステムを整えます。一冊の音読集が終わったら修了証を発行します。百人一首にも挑戦します。

学習発表会と作品展を隔年に開催します。区内の連合展覧会との調整を図り、本年度は作品展とします。今年は、6年生には11月30日の全日学校公開日に例年のように劇を演じてもらい、子どもと保護者が参観できるようにします。

このほか、4年生による学年飼育活動、「食育」の推進、北京市西单小学校との姉妹校交流なども展開します。図書まつり、岩井臨海学園の大遠泳なども継続します。絶えず子どもたちにとって何がよいのかを念頭に置きながら進めます。

鷺宮小学校の新たな歩みにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《生活目標》 生活のきまりを守りましょう